

第23回 『地域でともに暮らそう大切な人』の巻

ヨシ子さんのグループホームでの生活が始まりました。しばらく慣れない生活で落ち着かないこともありましたが、日に日に新しい生活にも慣れて、落ち着いて過ごすこともできています。

【また、ある日の様子】



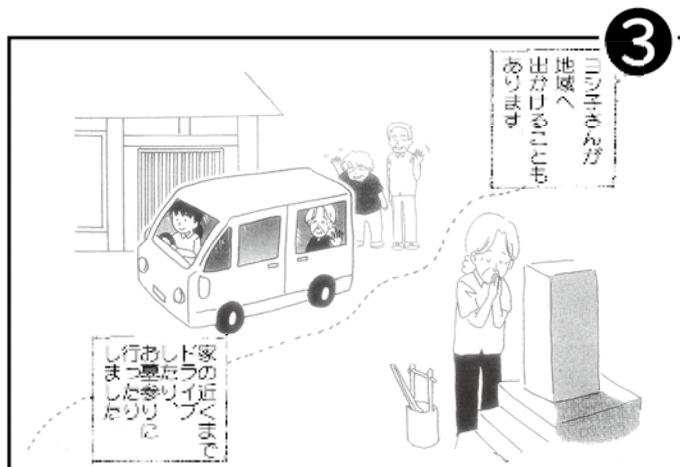
【ある日の様子】



【解 説】

認知症のある人に限らず、誰しも、新しい環境での生活には不安があるものです。この話のように、ヨシ子さんの不安な気持ちに寄り添って、一緒に過ごしてくれる人がそばにいと、安心して暮らすことができます。

～住むところが変わっても、家族・友人・地域のつながりは続いていきます～



【解 説】

グループホームに入居しても、家族や友人と会うことができます。入居しても、家族や地域とのつながりは続くので、本人や家族、友人も、安心して毎日を送ることができます。

※施設等での面会については、感染症等の感染状況に応じて対応が変更になる場合がありますので、この限りではありません。



9月21日は「世界アルツハイマーデー」 9月は「世界アルツハイマー月間」です

「世界アルツハイマーデー」（9月21日）は、国際アルツハイマー病協会（ADI）が世界保健機関（WHO）と共同で、認知症への理解を深め、本人や家族への施策を充実させることを目的に、1994年に制定されました。また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、世界各国で啓発活動が行われます。日本では、「公益社団法人認知症の人と家族の会」が中心と

なり、関係機関と連携して、全国で認知症に関する啓発活動が行われています。

日南町でも「自分や家族が認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」を目指して、認知症施策を推進しています。認知症について正しい知識を学び、理解を深め、一緒に考え、備えていきましょう。